

# 平成25年度 幸区区民アンケート調査 概要版

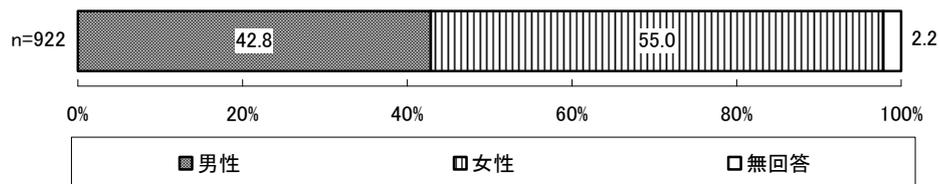
## 調査の概要

- 【調査対象】 幸区在住の満20歳以上の男女個人2,000人（外国人を含む）
- 【標本抽出】 平成25年3月31日現在の住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
- 【調査方法】 郵送配布－郵送回収法
- 【調査期間】 平成25年6月11日～7月1日
- 【回収状況】 調査件数：2,000件  
有効回収数：922件  
有効回収率：46.1%
- 【調査項目】
- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| (1) 幸区への愛着や住みやすさなどについて | (7) 高齢者支援について     |
| (2) 行政の情報について          | (8) 防災について        |
| (3) 区政への評価と要望について      | (9) 自転車事故防止対策について |
| (4) 幸区区民会議について         | (10) 区内の公園について    |
| (5) 地域の課題について          | (11) 音楽関連の取組について  |
| (6) 町内会・自治会、地域での交流について |                   |

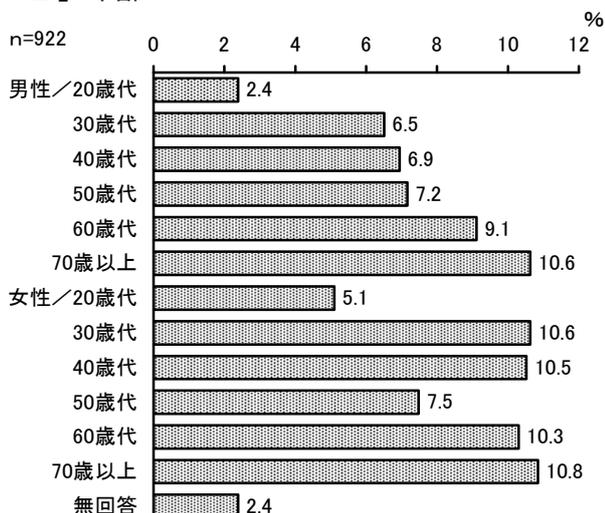
※ 図中における基数となるべき実数(n)は回答者数を示している。また、本文中の「構成比(%)」は小数点以下第2位を四捨五入していること、並びに複数回答によるものも含まれていることから、構成比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。

## ○調査回答者の属性

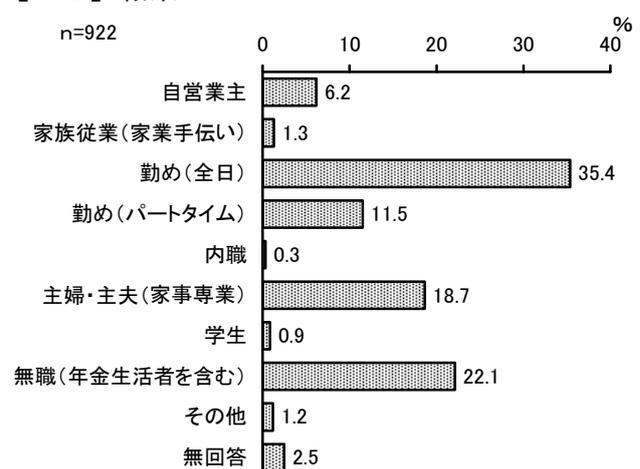
### 【F1】性別



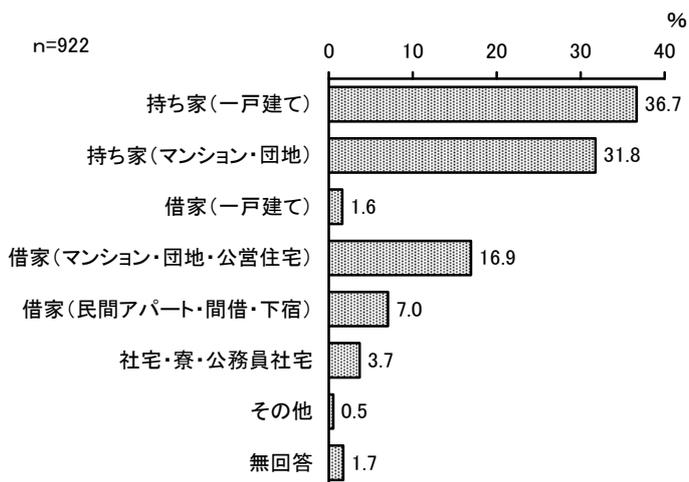
### 【F2】年齢



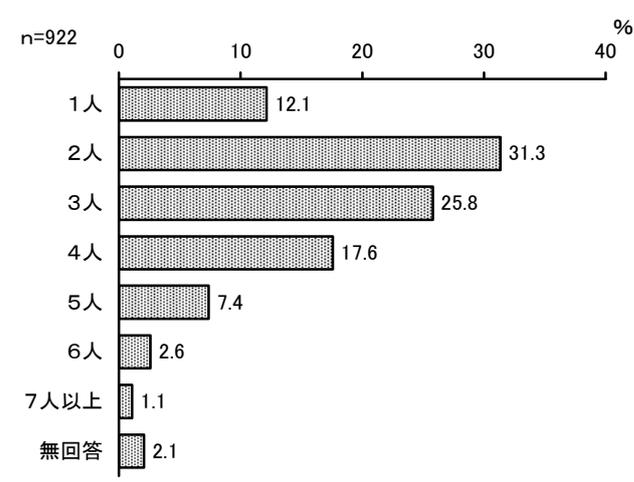
### 【F3】職業



【F 4】 居住形態

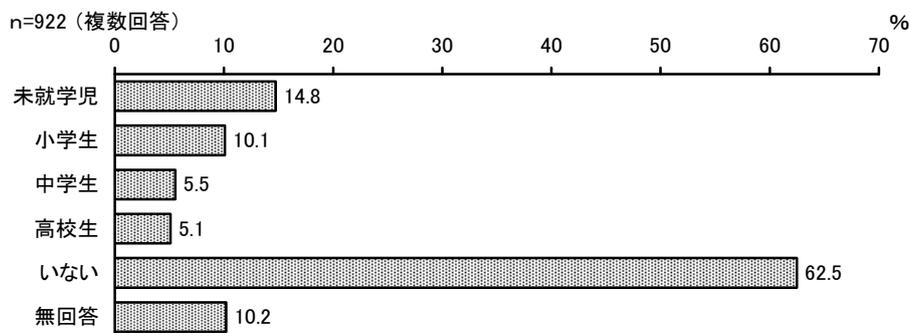


【F 5】 同居家族

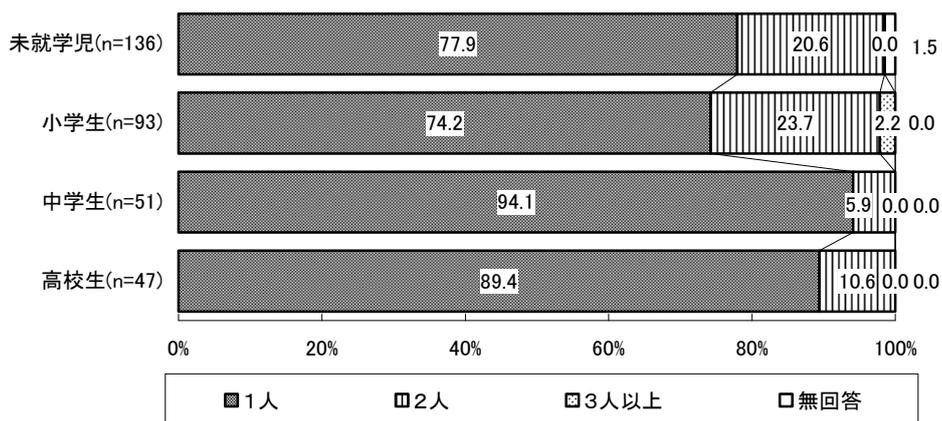


【F 6】 同居の未就学児、小学生、中学生、高校生の有無と人数

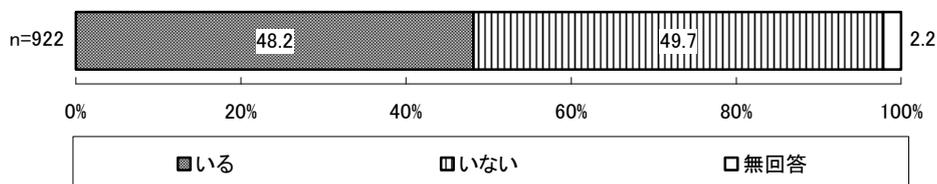
① 未就学児、小学生、中学生、高校生の有無



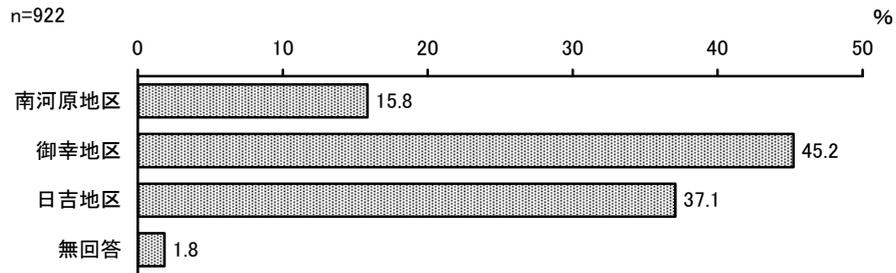
② 未就学児、小学生、中学生、高校生の人数



【F 7】 高齢者（65歳以上）の同居状況



## 【F8】居住地区



※各地区の内訳

【幸区役所管内】

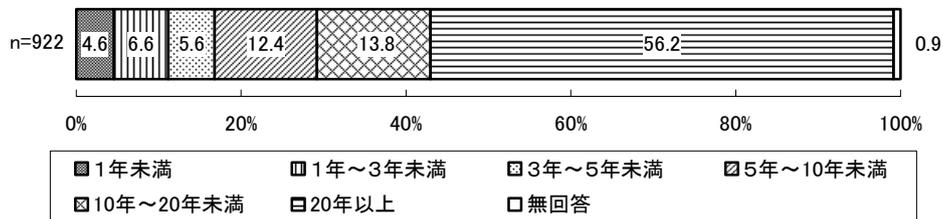
南河原地区：大宮町、幸町、中幸町、堀川町、南幸町、都町、柳町

御幸地区：遠藤町、河原町、小向町、小向仲野町、小向西町、紺屋町、下平間、新塚越、  
神明町、塚越、戸手、戸手本町、東古市場、古市場、古川町

【日吉出張所管内】

日吉地区：小倉、鹿島田、北加瀬、新川崎、東小倉、南加瀬、矢上

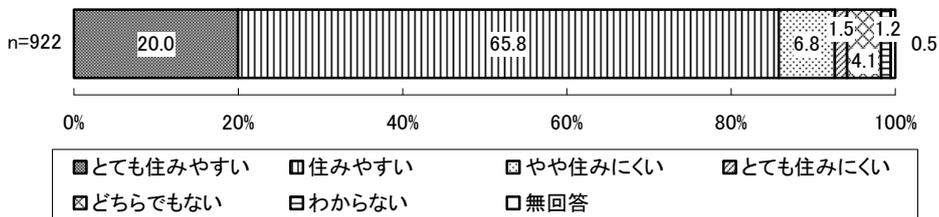
## 【F9】居住年数



# 1 幸区への愛着や住みやすさなどについて

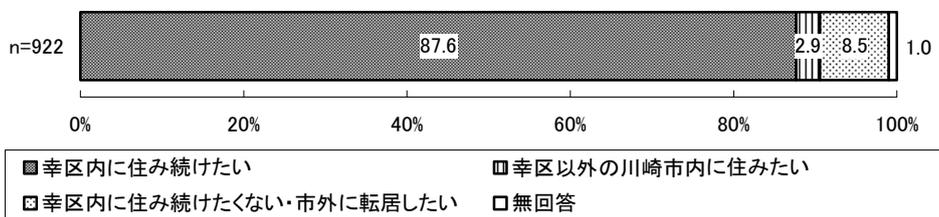
## (1) 幸区の住みやすさ

「とても住みやすい」(20.0%)、「住みやすい」(65.8%)を合わせると、85.8%が住みやすいと感じている。



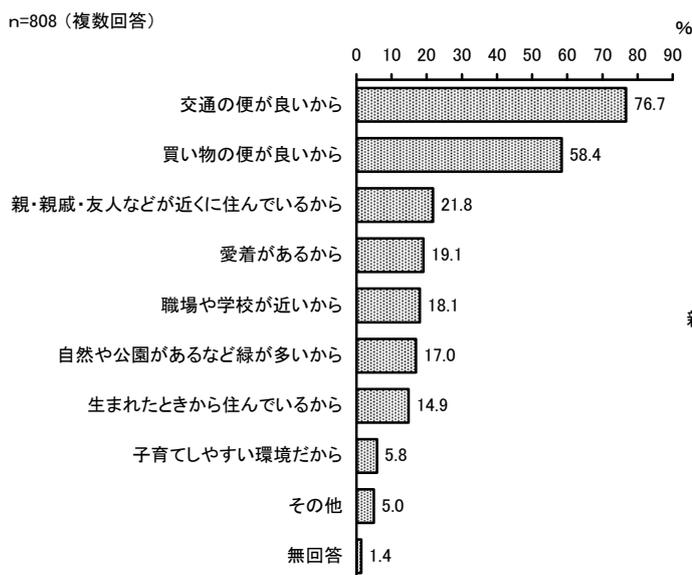
## (2) 幸区への居留意向

「幸区内に住み続けたい」が87.6%で最も高くなっている。



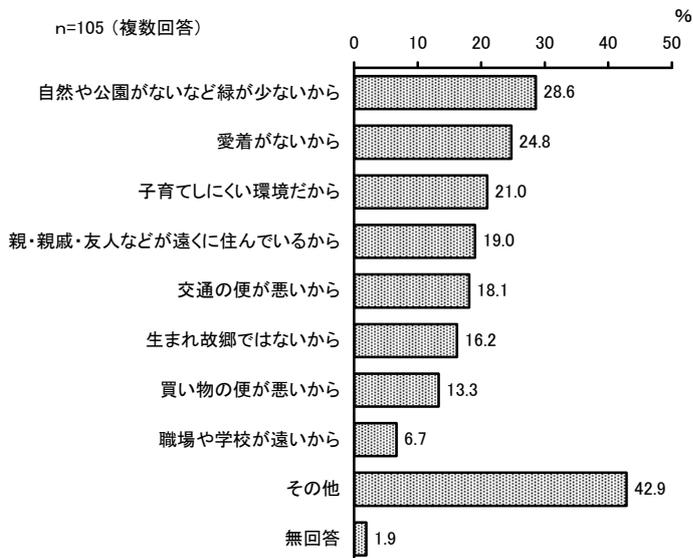
## (3) 幸区に住み続けたい理由

「幸区内に住み続けたい」と回答した人に理由を聞いたところ、「交通の便が良いから」が76.7%で最も高く、次いで「買い物の便が良いから」(58.4%)、「親・親戚・友人などが近くに住んでいるから」(21.8%)と続いている。



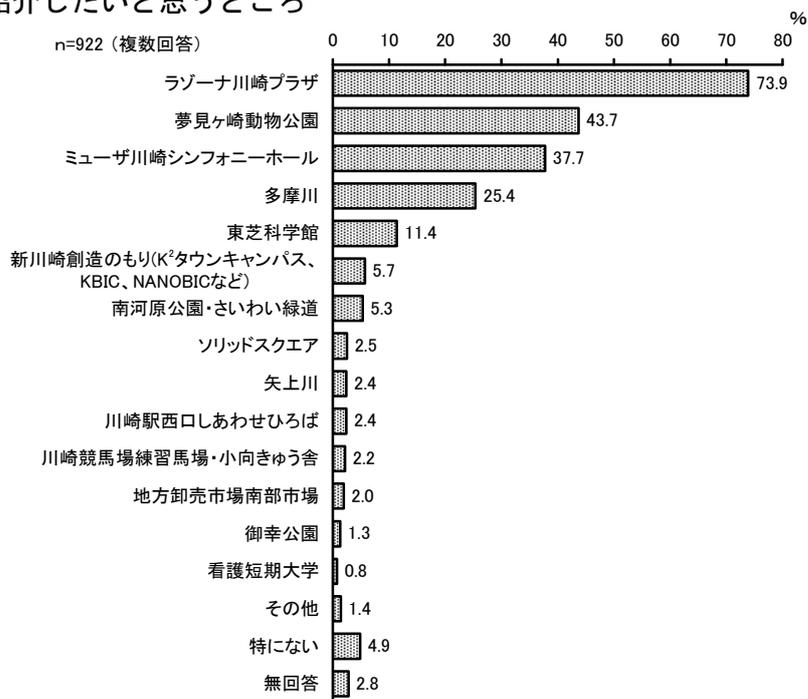
## (4) 幸区に住み続けたくない理由

「幸区以外に川崎市内に住みたい」、「幸区内に住み続けたくない・市外に転居したい」と回答した人に理由を聞いたところ、「自然や公園がないなど緑が少ないから」が28.6%で最も高く、次いで「愛着がないから」(24.8%)、「子育てしにくい環境だから」(21.0%)と続いている。



## (5) 幸区のシンボルスポットとして紹介したいと思うところ

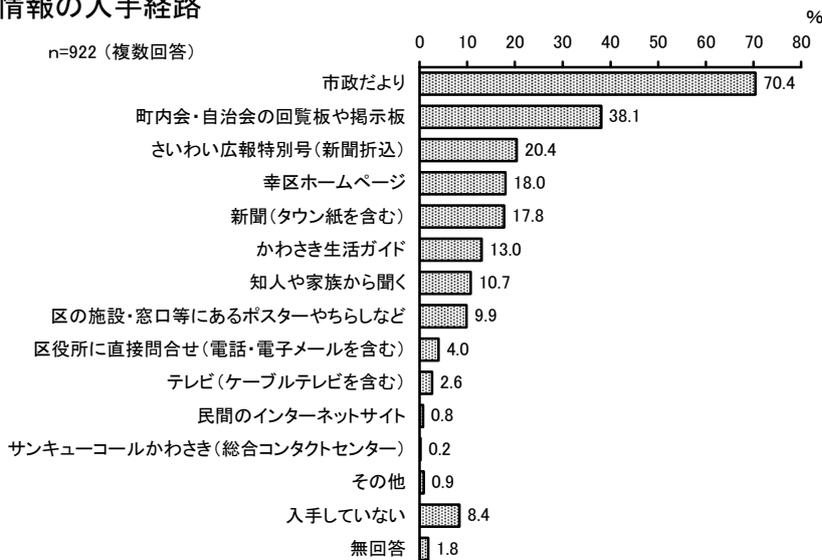
「ラゾーナ川崎プラザ」が73.9%で最も高く、次いで「夢見ヶ崎動物公園」(43.7%)、「ミュージア川崎シンフォニーホール」(37.7%)と続いている。



## 2 行政の情報について

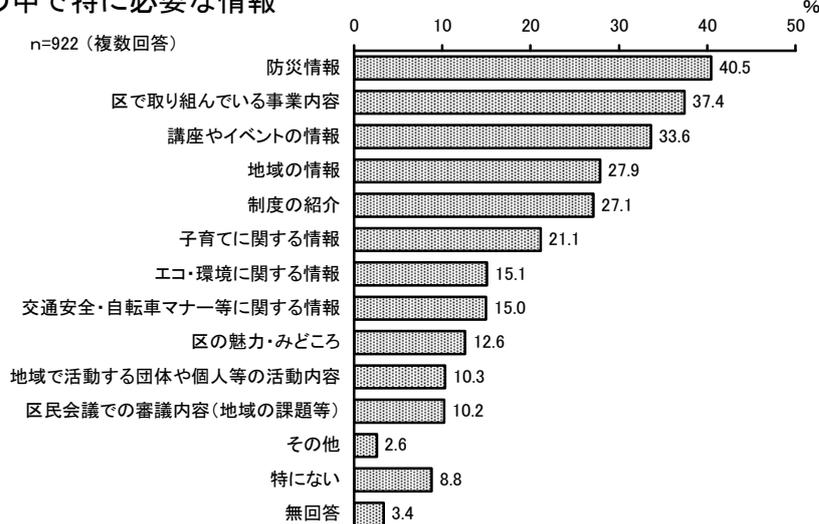
### (1) 幸区役所などが提供する行政情報の入手経路

「市政だより」が70.4%で最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板や掲示板」(38.1%)、「さいわい広報特別号(新聞折込)」(20.4%)と続いている。



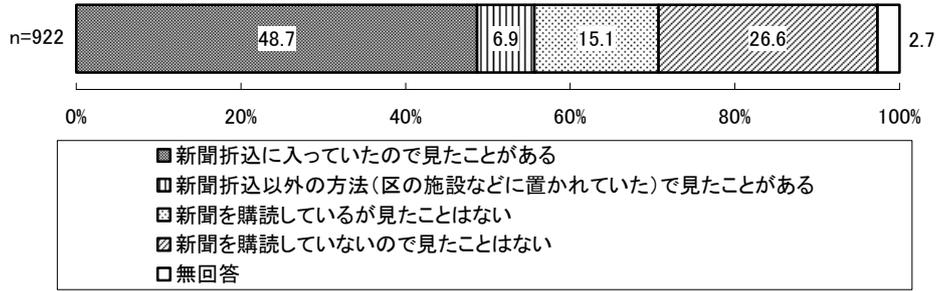
### (2) 幸区役所が提供する行政情報の中で特に必要な情報

「防災情報」が40.5%で最も高く、次いで「区で取り組んでいる事業内容」(37.4%)、「講座やイベントの情報」(33.6%)と続いている。



### (3) さいわい広報特別号の認知状況

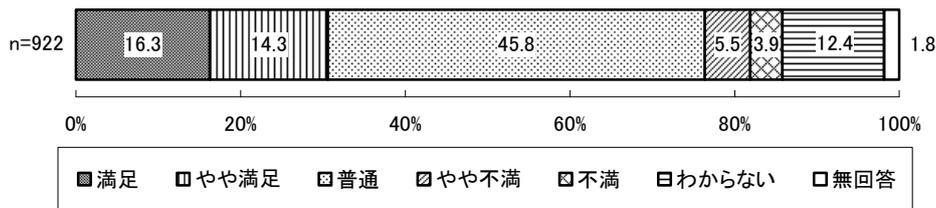
「新聞折込に入っていたので見たことがある」(48.7%)、「新聞折込以外の方法(区の施設などに置かれていた)で見たことがある」(6.9%)を合わせると、55.6%が見たことがあると回答している。



## 3 区政への評価と要望について

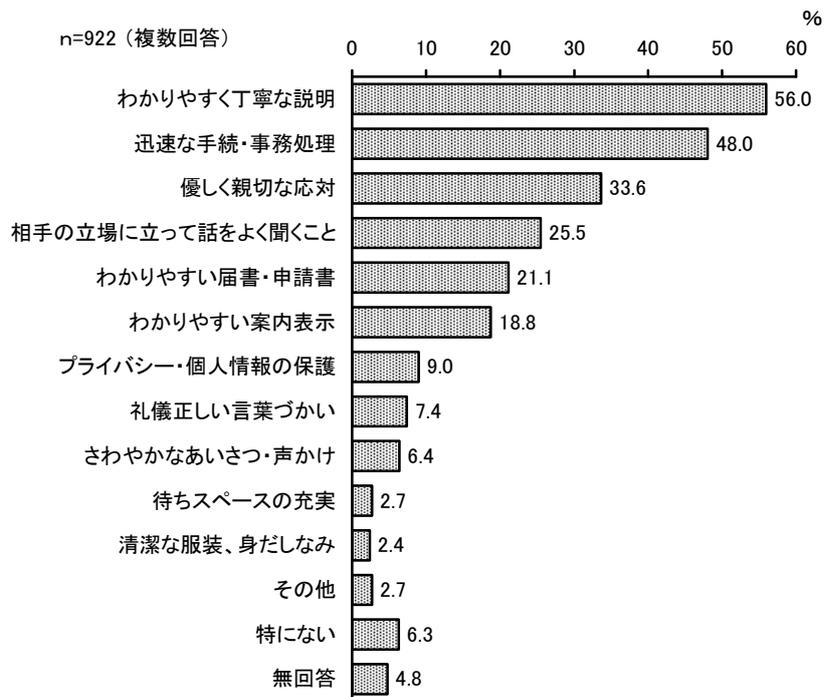
### (1) 幸区役所職員の対応に対する満足度

「普通」が 45.8%で最も高くなっている。また、「満足」(16.3%)、「やや満足」(14.3%)を合わせると、30.6%が満足と回答している。



### (2) 幸区役所等での窓口対応で期待するもの

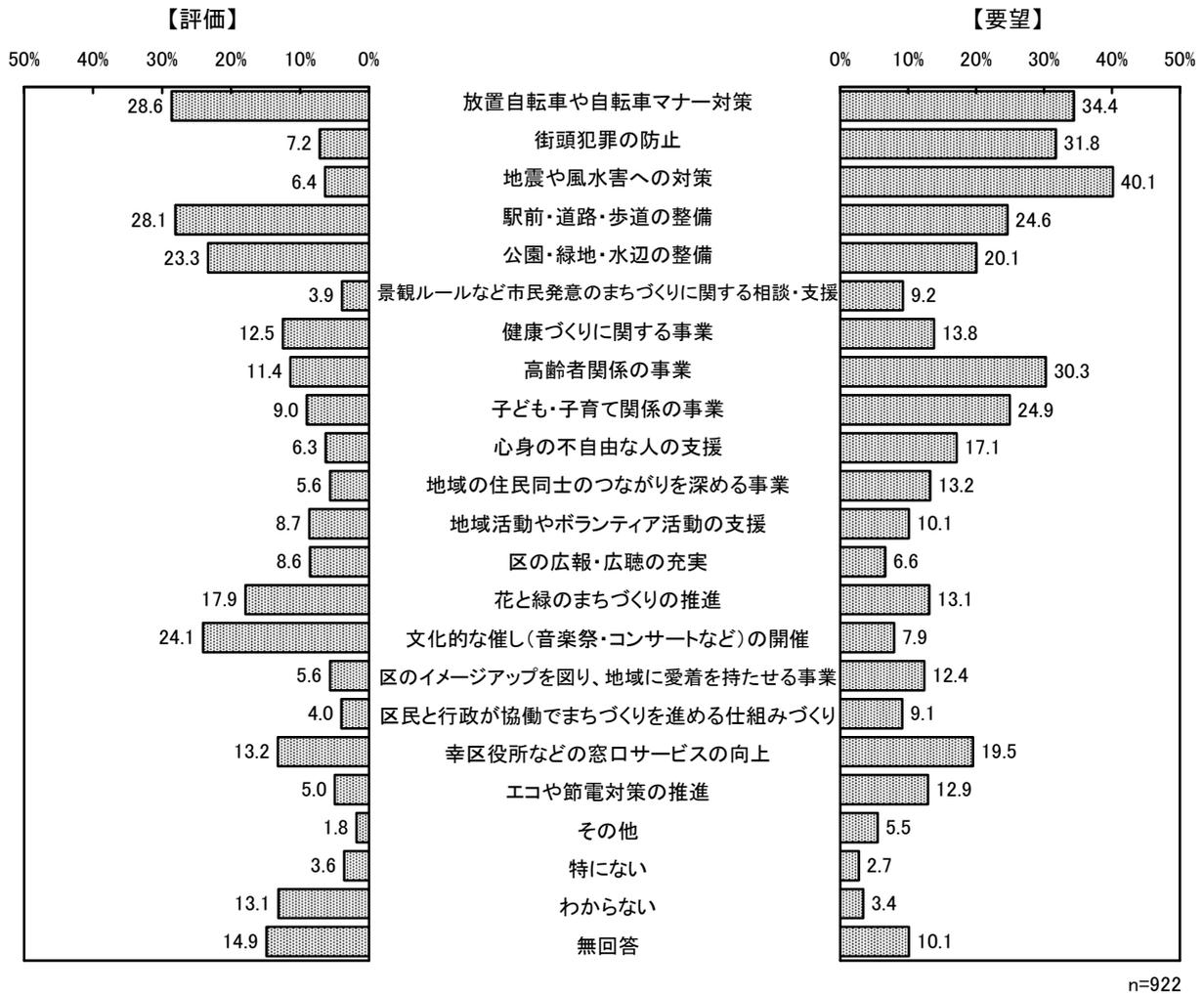
「わかりやすく丁寧な説明」が 56.0%で最も高く、次いで「迅速な手続・事務処理」(48.0%)、「優しく親切な対応」(33.6%)と続いている。



### (3) 幸区役所の業務に対する評価と要望

評価としては、「放置自転車や自転車マナー対策」(28.6%)、「駅前・道路・歩道の整備」(28.1%)がほぼ最上位で並び、次いで「文化的な催し(音楽祭・コンサートなど)の開催」(24.1%)と続いている。

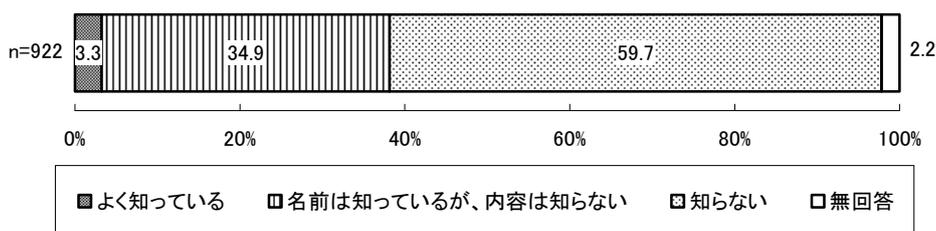
また、要望としては、「地震や風水害への対策」が40.1%で最も高く、次いで「放置自転車や自転車マナー対策」(34.4%)、「街頭犯罪の防止」(31.8%)と続いている。



## 4 幸区区民会議について

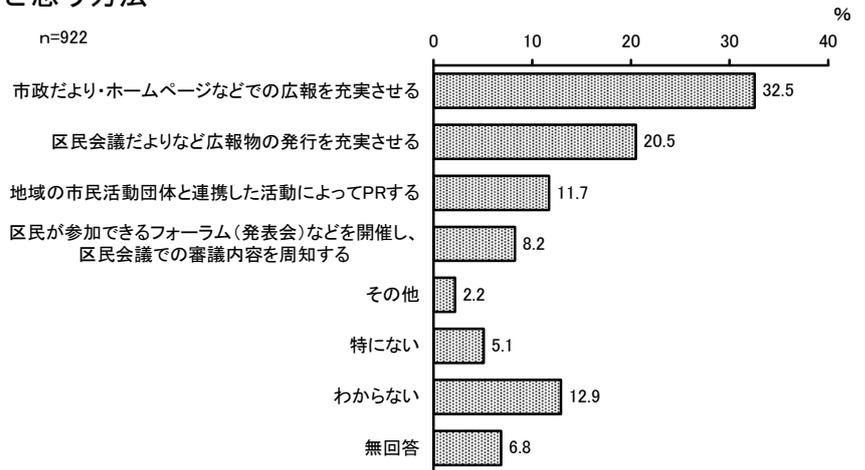
### (1) 幸区区民会議の認知度

「よく知っている」(3.3%)、「名前は知っているが、内容は知らない」(34.9%)を合わせると、38.2%が知っていると回答している。



## (2) 区民会議周知のために最もよいと思う方法

「市政だより・ホームページなどでの広報を充実させる」が32.5%で最も高く、次いで「区民会議だよりなど広報物の発行を充実させる」(20.5%)、「地域の市民活動団体と連携した活動によってPRする」(11.7%)、「市民が参加できるフォーラム(発表会)などを開催し、区民会議での審議内容を周知する」(8.2%)と続いている。

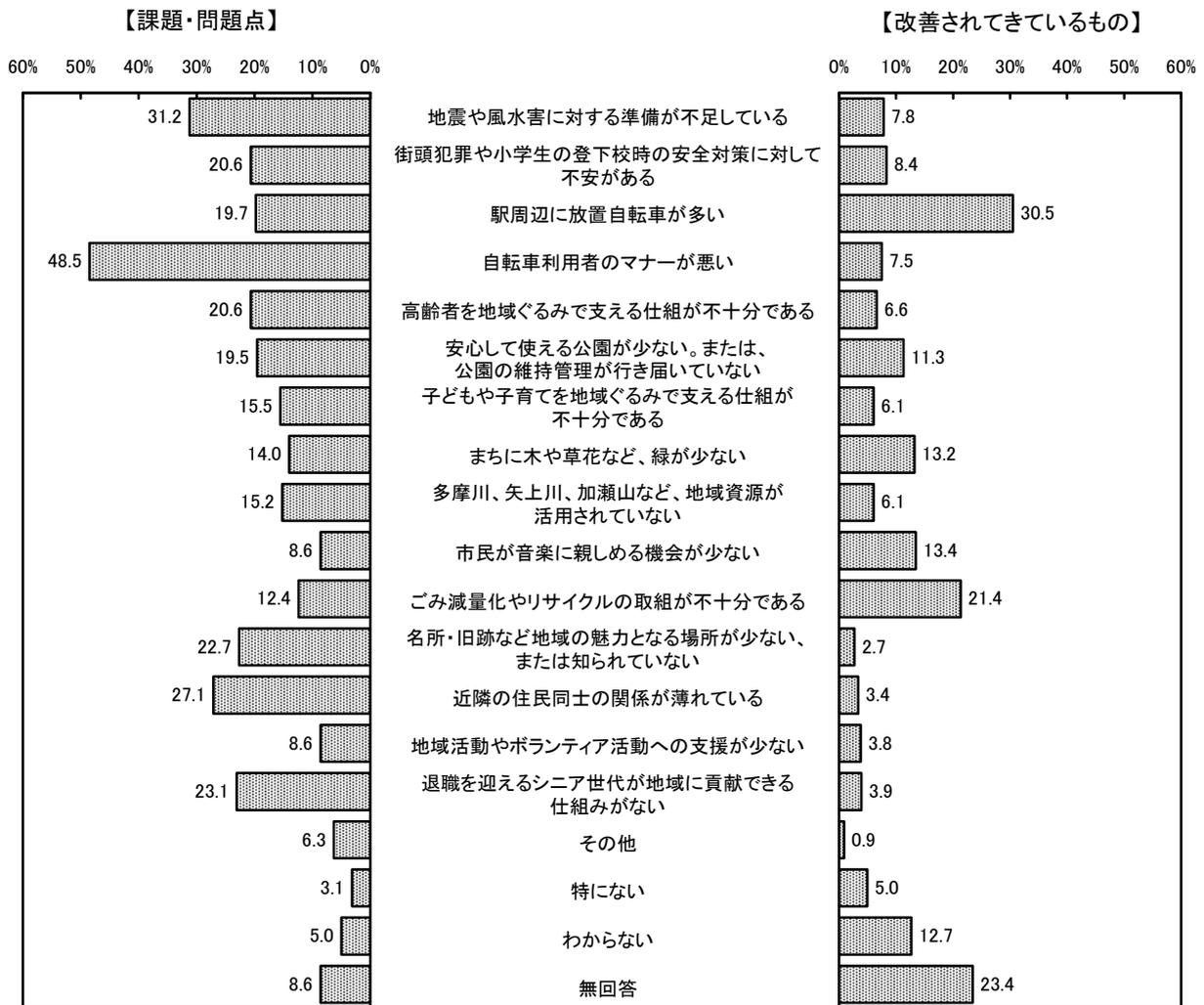


## 5 地域の課題について

### (1) 地域の課題・問題点と改善されてきていると思うもの

地域の課題・問題点と思うものは、「自転車利用者のマナーが悪い」が48.5%で最も高く、次いで「地震や風水害に対する準備が不足している」(31.2%)、「近隣の住民同士の関係が薄れている」(27.1%)と続いている。

改善されてきていると思うものは、「駅周辺に放置自転車が多い」が30.5%で最も高く、次いで「ごみ減量化やリサイクルの取組が不十分である」(21.4%)、「市民が音楽に親しめる機会が少ない」(13.4%)と続いている。

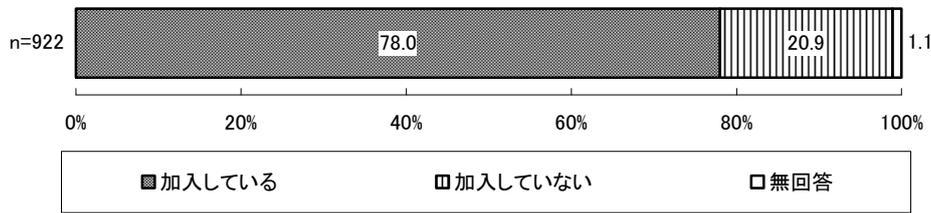


n=922

## 6 町内会・自治会、地域での交流について

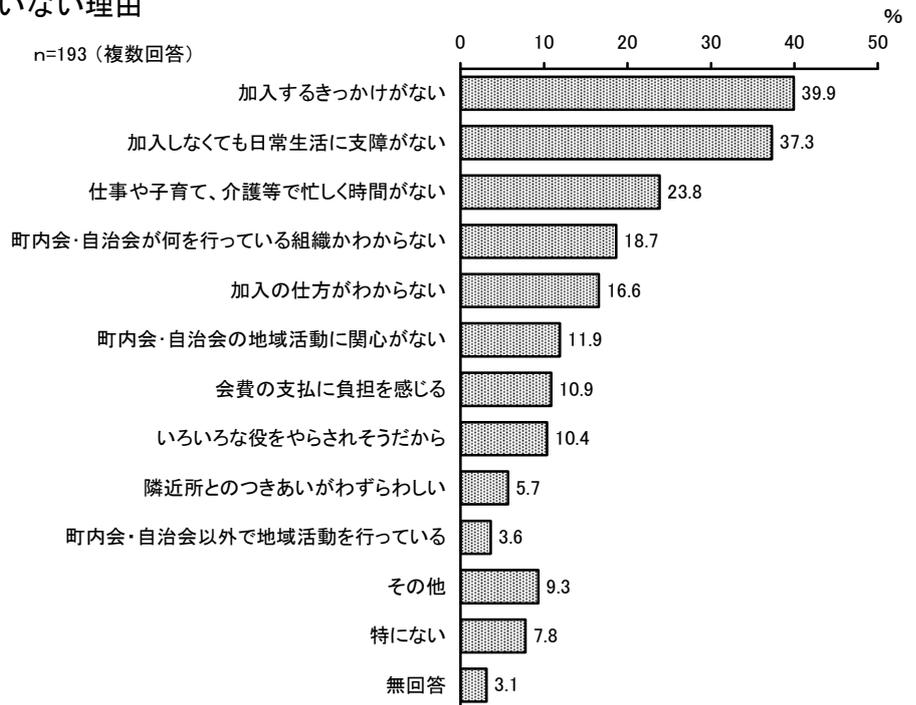
### (1) 町内会・自治会への加入状況

「加入している」が78.0%と高くなっている。



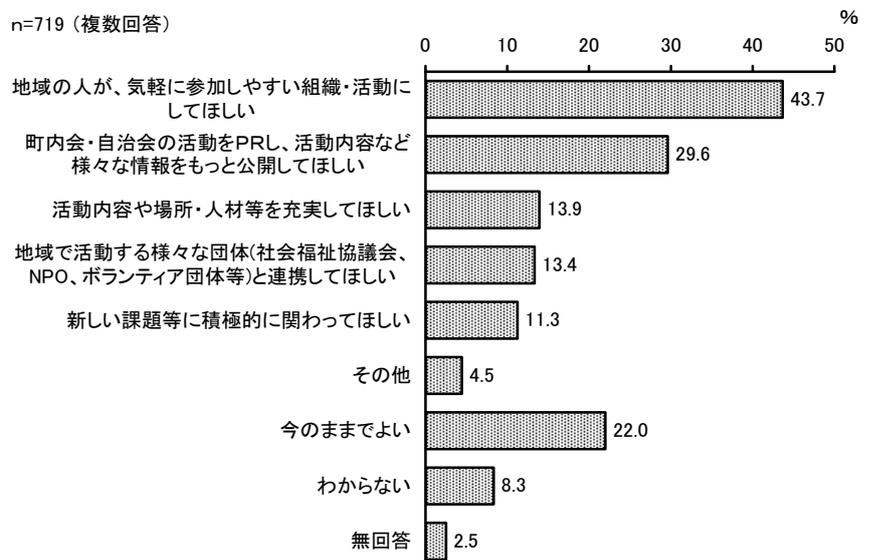
### (2) 町内会・自治会に加入していない理由

「加入していない」人に理由を聞いたところ、「加入するきっかけがない」が39.9%で最も高く、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」(37.3%)、「仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない」(23.8%)と続いている。



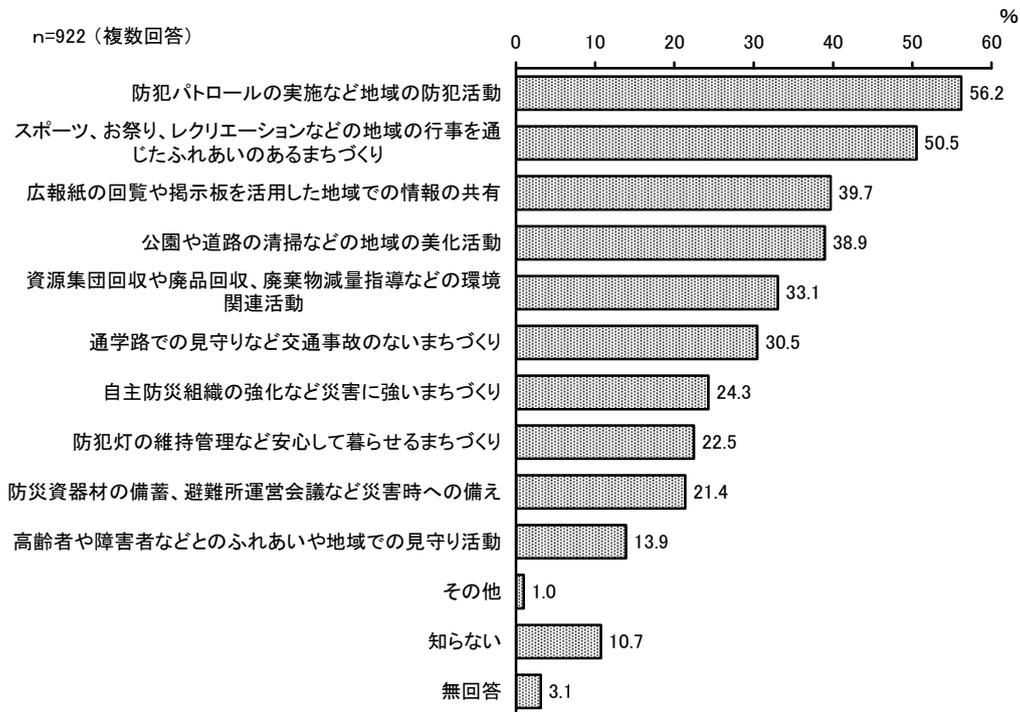
### (3) 町内会・自治会活動に期待すること

「加入している」人に期待することを聞いたところ、「地域の人が、気軽に参加しやすい組織・活動にしてほしい」が43.7%で最も高く、次いで「町内会・自治会の活動をPRし、活動内容など様々な情報をもっと公開してほしい」(29.6%)、「活動内容や場所・人材等を充実してほしい」(13.9%)と続いている。



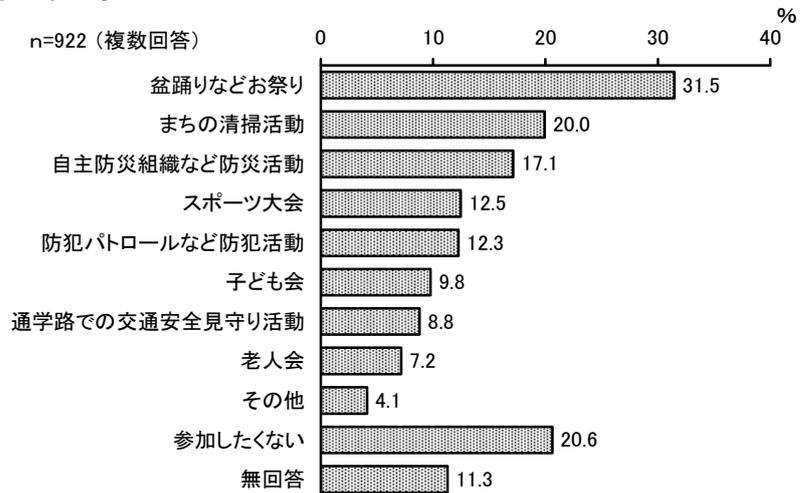
#### (4) 町内会・自治会が行っている活動の中で知っていること

「防犯パトロールの実施など地域の防犯活動」が56.2%で最も高く、次いで「スポーツ、お祭り、レクリエーションなどの地域の行事を通じたふれあいのあるまちづくり」(50.5%)、「広報紙の回覧や掲示板を活用した地域での情報の共有」(39.7%)と続いている。



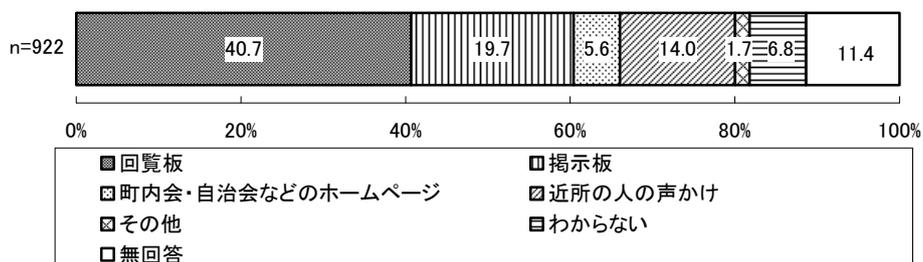
#### (5) 町内会・自治会が行っている活動の中で参加してみたいこと

「盆踊りなどお祭り」が31.5%で最も高く、次いで「まちの清掃活動」(20.0%)、「自主防災組織など防災活動」(17.1%)と続いている。一方、「参加したくない」(20.6%)は、ほぼ2割を占めている。



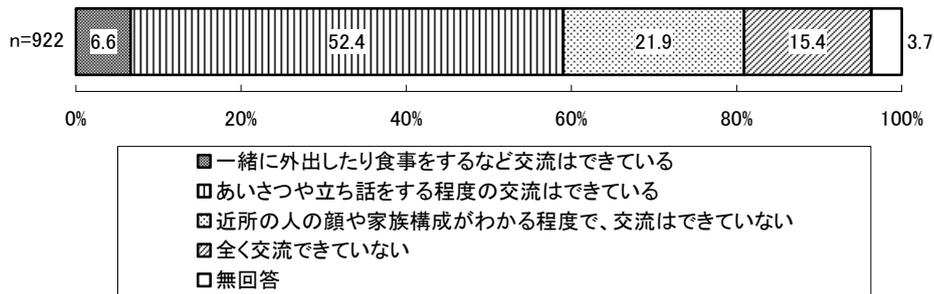
#### (6) 町内会・自治会の活動を知ってもらうために一番有効な方法

「回覧板」が40.7%で最も高く、次いで「掲示板」(19.7%)、「近所の人声かけ」(14.0%)と続いている。



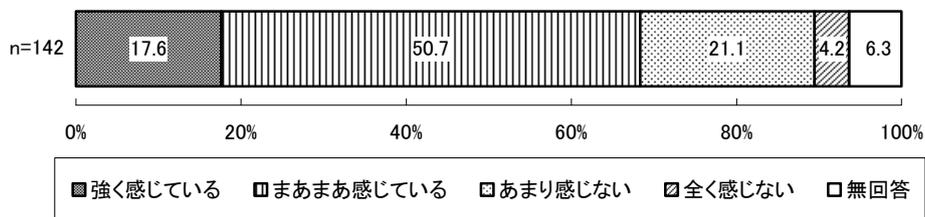
### (7) 住まいの地域での交流状況

「一緒に外出したり食事をするなど交流はできている」(6.6%)、「あいさつや立ち話をする程度の交流はできている」(52.4%)を合わせると、59.0%が交流はできていると回答している。



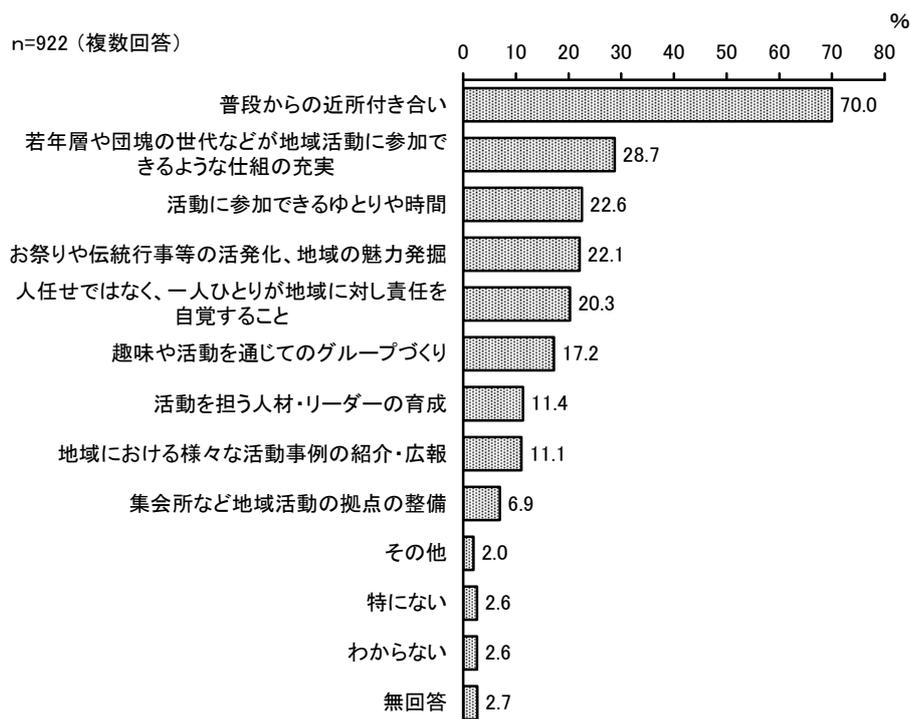
### (8) 東日本大震災をきっかけとした地域交流の必要性

「全く交流できていない」と回答した人に必要性を聞いたところ、「強く感じている」(17.6%)、「まあまあ感じている」(50.7%)を合わせると、68.3%が地域交流の必要性を感じている。



### (9) 住民の連帯感を生み出すために大切なこと

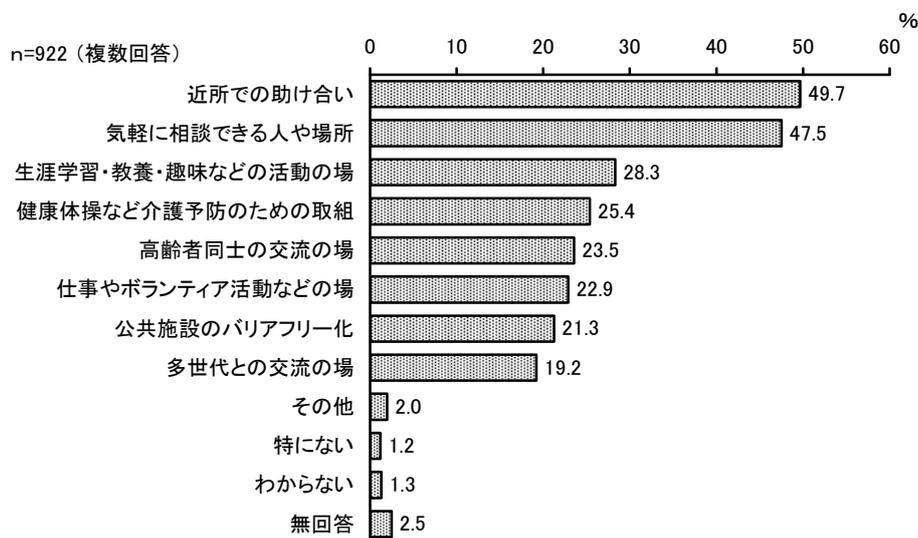
「普段からの近所付き合い」が70.0%で最も高く、次いで「若年層や団塊の世代などが地域活動に参加できるような仕組の充実」(28.7%)、「活動に参加できるゆとりや時間」(22.6%)と続いている。



## 7 高齢者支援について

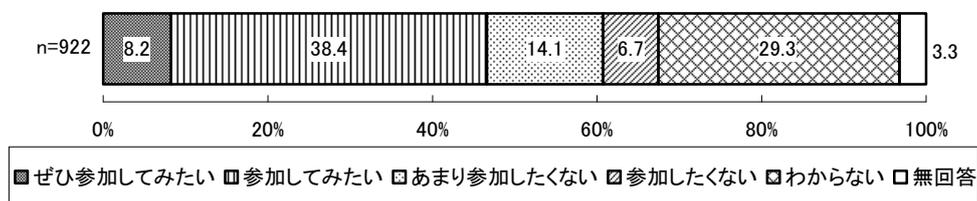
### (1) これからの高齢社会において必要だと思うこと

「近所での助け合い」が49.7%で最も高く、次いで「気軽に相談できる人や場所」(47.5%)、「生涯学習・教養・趣味などの活動の場」(28.3%)と続いている。



### (2) 地域の高齢者同士の活動への参加意向

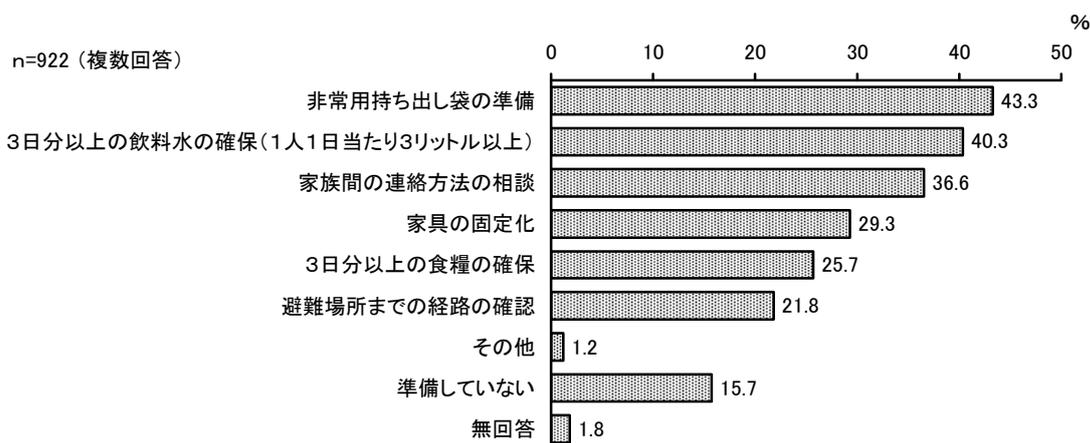
「ぜひ参加してみたい」(8.2%)、「参加してみたい」(38.4%)を合わせると、46.6%が参加してみたいと回答している。



## 8 防災について

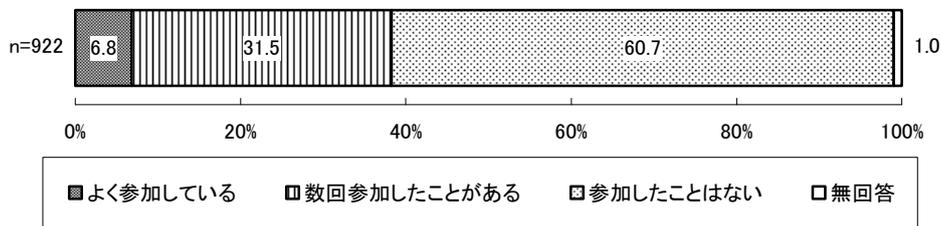
### (1) 家庭で行っている災害に備えての準備

「非常用持ち出し袋の準備」が43.3%で最も高く、次いで「3日分以上の飲料水の確保(1人1日当たり3リットル以上)」(40.3%)、「家族間の連絡方法の相談」(36.6%)と続いている。



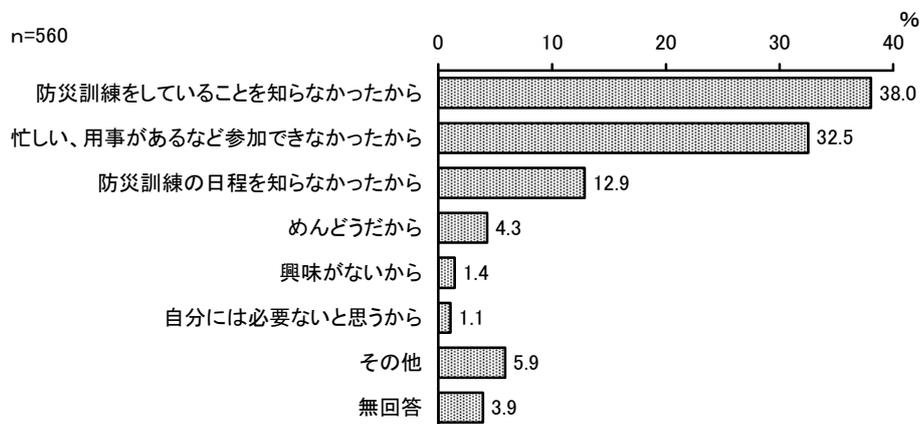
## (2) 地域の防災訓練への参加状況

「よく参加している」(6.8%)、「数回参加したことがある」(31.5%)を合わせると、38.3%が参加している(参加したことがある)と回答している。一方、「参加したことはない」(60.7%)はほぼ6割となっている。



## (3) 地域の防災訓練に参加したことがない理由

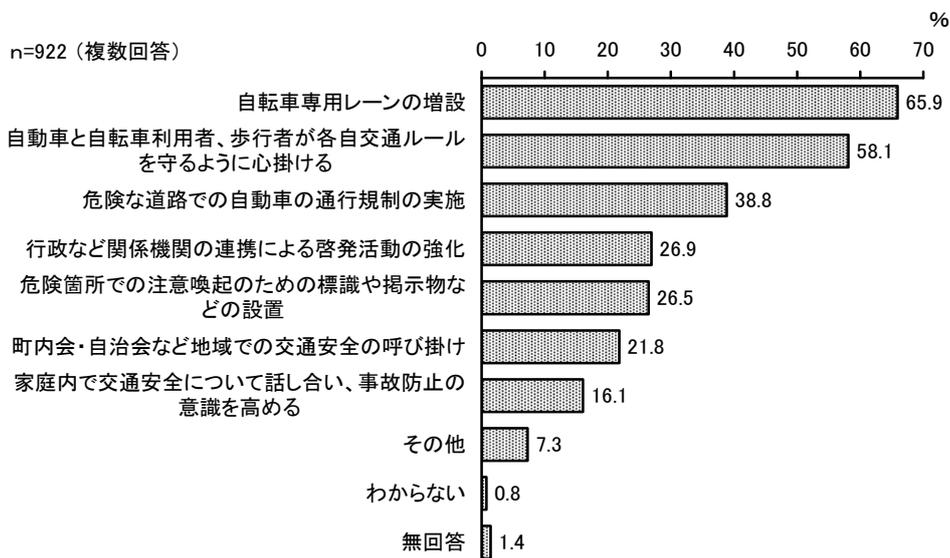
「参加したことはない」と回答した人に理由を聞いたところ、「防災訓練をしていることを知らなかったから」が38.0%で最も高く、次いで「忙しい、用事があるなど参加できなかったから」(32.5%)、「防災訓練の日程を知らなかったから」(12.9%)と続いている。



# 9 自転車事故防止対策について

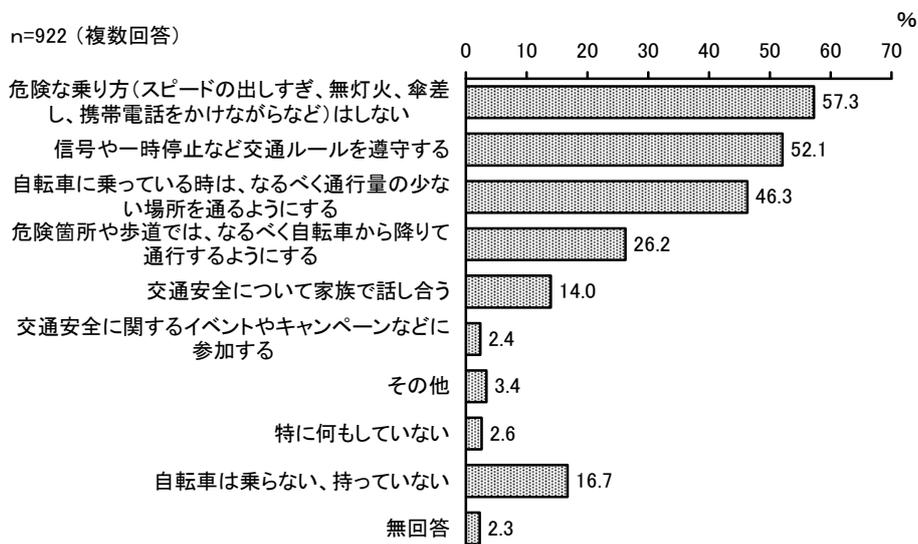
## (1) 自転車事故をなくすために有効だと思う対策

「自転車専用レーンの増設」が65.9%で最も高く、次いで「自動車と自転車利用者、歩行者が各自交通ルールを守るように心掛ける」(58.1%)、「危険な道路での自動車の通行規制の実施」(38.8%)と続いている。



## (2) 自転車事故防止のためにやっていること

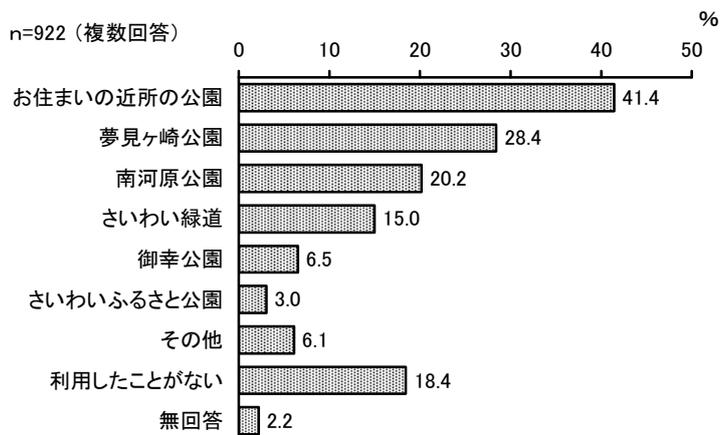
「危険な乗り方(スピードの出しすぎ、無灯火、傘差し、携帯電話をかけながらなど)はしない」が57.3%で最も高く、次いで「信号や一時停止など交通ルールを遵守する」(52.1%)、「自転車に乗っている時は、なるべく通行量の少ない場所を通るようにする」(46.3%)と続いている。



## 10 区内の公園について

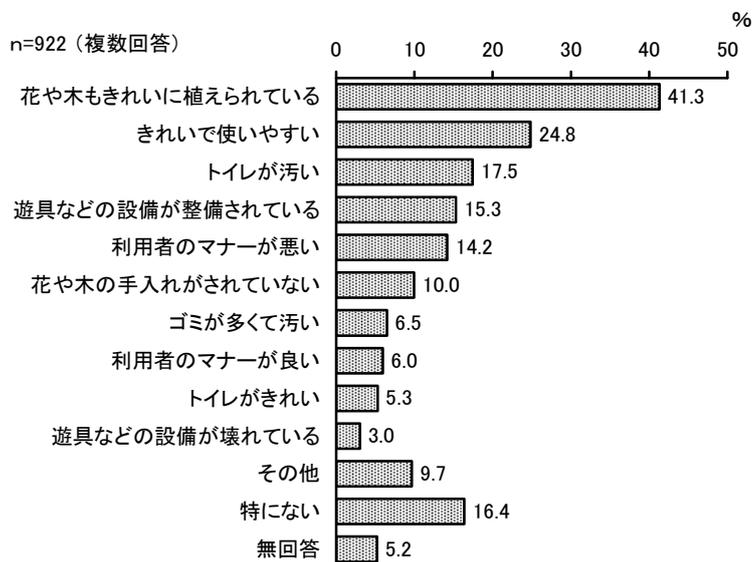
### (1) よく利用する区内の公園・緑道

「お住まいの近所の公園」が41.4%で最も高く、次いで「夢見ヶ崎公園」(28.4%)、「南河原公園」(20.2%)と続いている。



### (2) 公園の管理について、気づいたこと

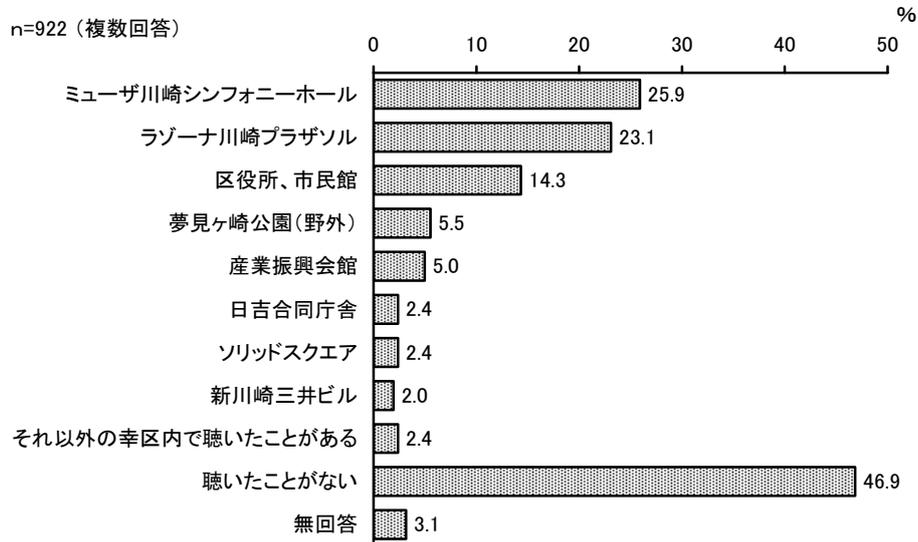
「花や木もきれいに植えられている」が41.3%で最も高く、次いで「きれいで使いやすい」(24.8%)、「トイレが汚い」(17.5%)と続いている。



## 11 音楽関連の取組について

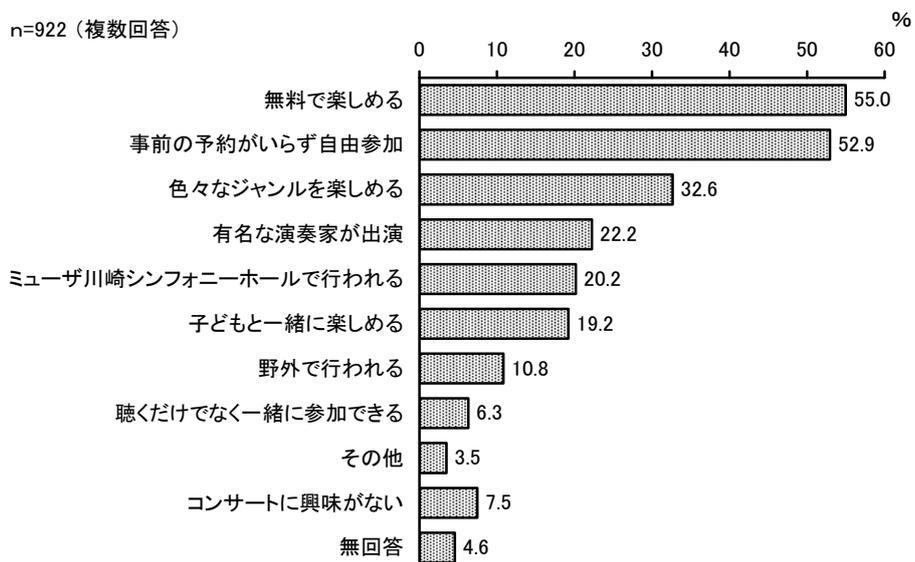
### (1) 幸区内でコンサートを聴いたことのある場所

「ミュージア川崎シンフォニーホール」が25.9%で最も高く、次いで「ラゾーナ川崎プラザソル」(23.1%)、「区役所、市民館」(14.3%)と続いている。一方、「聴いたことがない」(46.9%)は4割以上を占めている。



### (2) 興味を持つコンサートの形態

「無料で楽しめる」が55.0%で最も高く、次いで「事前の予約がいらず自由参加」(52.9%)、「色々なジャンルを楽しむ」(32.6%)と続いている。





## 平成 25 年度 幸区区民アンケート調査 <概要版>

平成 25 年 10 月

発行 幸区役所 まちづくり推進部企画課

〒212-8570 川崎市幸区戸手本町 1-11-1

TEL 044-556-6612(直通)

FAX 044-555-3130

メールアドレス 63kikaku@city.kawasaki.jp